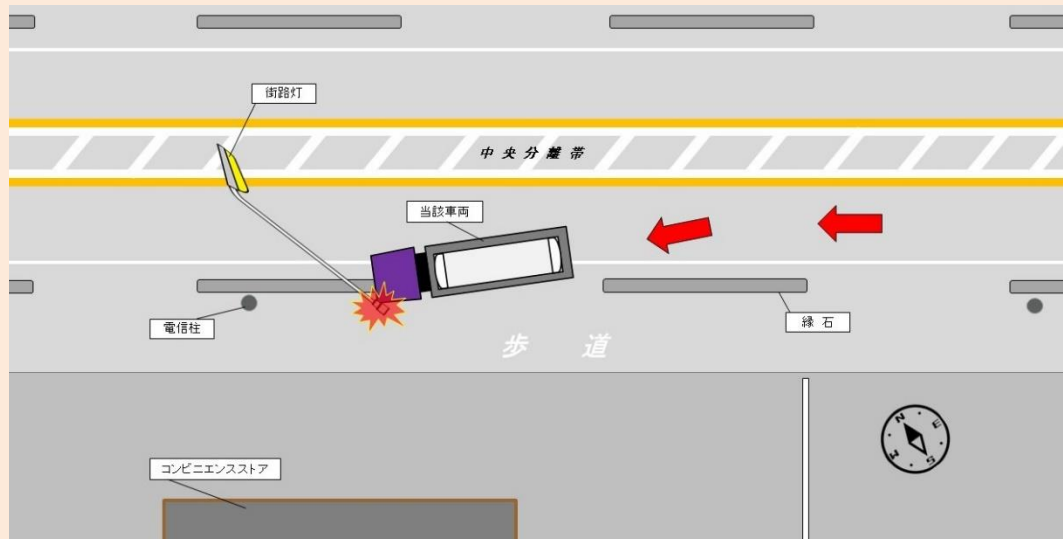


## 【事故概要】

- 年月：令和5年1月
- 概要：大型トラックが一般道を走行中、運転者がくも膜下出血により意識消失状態となり、道路左側の縁石に乗り上げ、歩道の街路灯に衝突する事故が発生。  
この事故により一部区間で約40分通行止めとなった。



## 【原因】

- 運転者
  - ・ 健康診断で要精密検査の項目が複数あったが未受診。
  - ・ 日常の健康管理の重要性について意識が希薄であった。
- 事業者・運行管理者
  - ・ 深夜においては、乗務前点呼を電話で行っていた。
  - ・ 指導監督指針の12項目や健康管理の重要性について指導・教育を行っていなかった。



健康管理の重要性について再認識



指導・教育は計画を立てて確実に実施

## 【再発防止策】

- 運転者の意識改革
  - ・ 健康診断の結果、要精密検査等の項目があれば受診し、体調に異変があれば管理者へ報告。
  - ・ 安全な運行のため健康管理の重要性について再認識。
- 適切な運行管理、指導監督
  - ・ 運行の安全を確認する点呼は、原則対面にて確実に実施。
  - ・ 指導・教育は計画を立てて、確実に実施。



点呼は原則対面にて、確実に実施